

JERAと西部ガスによるひびきLNG基地の戦略的活用に関する提携合意

1. JERAと西部ガスの概要
2. ひびきLNG基地 3号タンク概要
3. ひびきLNG基地の戦略的活用の提携項目
4. LNG安定供給への対応
5. グローバルビジネスの推進

株式会社JERA

西部ガス株式会社

2025年4月22日

1. JERAと西部ガスの概要

- JERAは、日本最大級のエネルギー企業で、発電・燃料調達・エネルギー取引をグローバルに展開
- 西部ガスは、北部九州を中心に都市ガス・電気を中心としたエネルギー関連事業を展開



会社名	株式会社JERA
本社所在地	東京都中央区日本橋2丁目5番1号
設立日	2015年4月30日
従業員数	5,838名（2024年3月31日時点）
事業内容	●火力発電事業 ●再生可能エネルギー事業 ●ガス・LNG事業 ●上記各事業に関するエンジニアリング、コンサルティング など



会社名	西部ガス株式会社
本社所在地	福岡市博多区千代1丁目17番1号
設立日	2020年4月1日
従業員数	3,852名（グループ連結従業員数、2024年3月31日時点）
事業内容	●都市ガスの製造・供給・販売 ●液化天然ガスの販売 ●ガス機械器具の製作、販売、設置及びこれに関する建設工事

1. JERAと西部ガスの概要（LNG関連の主要数値）

Jera

 西部ガス

LNG
受入基地数

8 基地

1 基地

LNG貯槽容量

6 5 7 万 k L

3 6 万 k L
(2029~: 5 9 万 k L)

LNG取扱量

約 3, 6 0 0 万 t / 年

約 8 0 万 t / 年

LNG船
年間受入数

約 4 0 0 隻

約 1 2 隻

2. ひびきLNG基地 3号タンク概要

- 西部ガスは、国内の天然ガス需要への対応や安定供給の更なる向上、グローバルビジネスの推進を目的に、2024年11月に「ひびきLNG基地」の能力増強を実施することを決定

【ひびきLNG基地能力増強の概要】

事業会社	西部ガス株式会社
建設地	福岡県北九州市若松区向洋町20-1 (ひびきエル・エヌ・ジー株式会社の敷地内)
主要設備	3号LNGタンク（23万kL）、ガス製造設備 (LNG気化器・BOG圧縮機等)、ローリー出荷設備等
着工予定	2025年夏頃（本工事）
運転開始予定時期	2029年度上期

【ひびきLNG基地能力増強完成イメージ図】



【ひびきLNG基地の位置図】



3. ひびきLNG基地の戦略的活用の提携項目

- JERAと西部ガスは、以下の項目を対象にひびきLNG基地の戦略的活用の提携に合意

01

LNG安定供給への対応

- ひびきLNG基地の3号タンクを活用したLNG相互融通

02

グローバルビジネスの推進

- アジアをはじめとした海外へのLNG再出荷

03

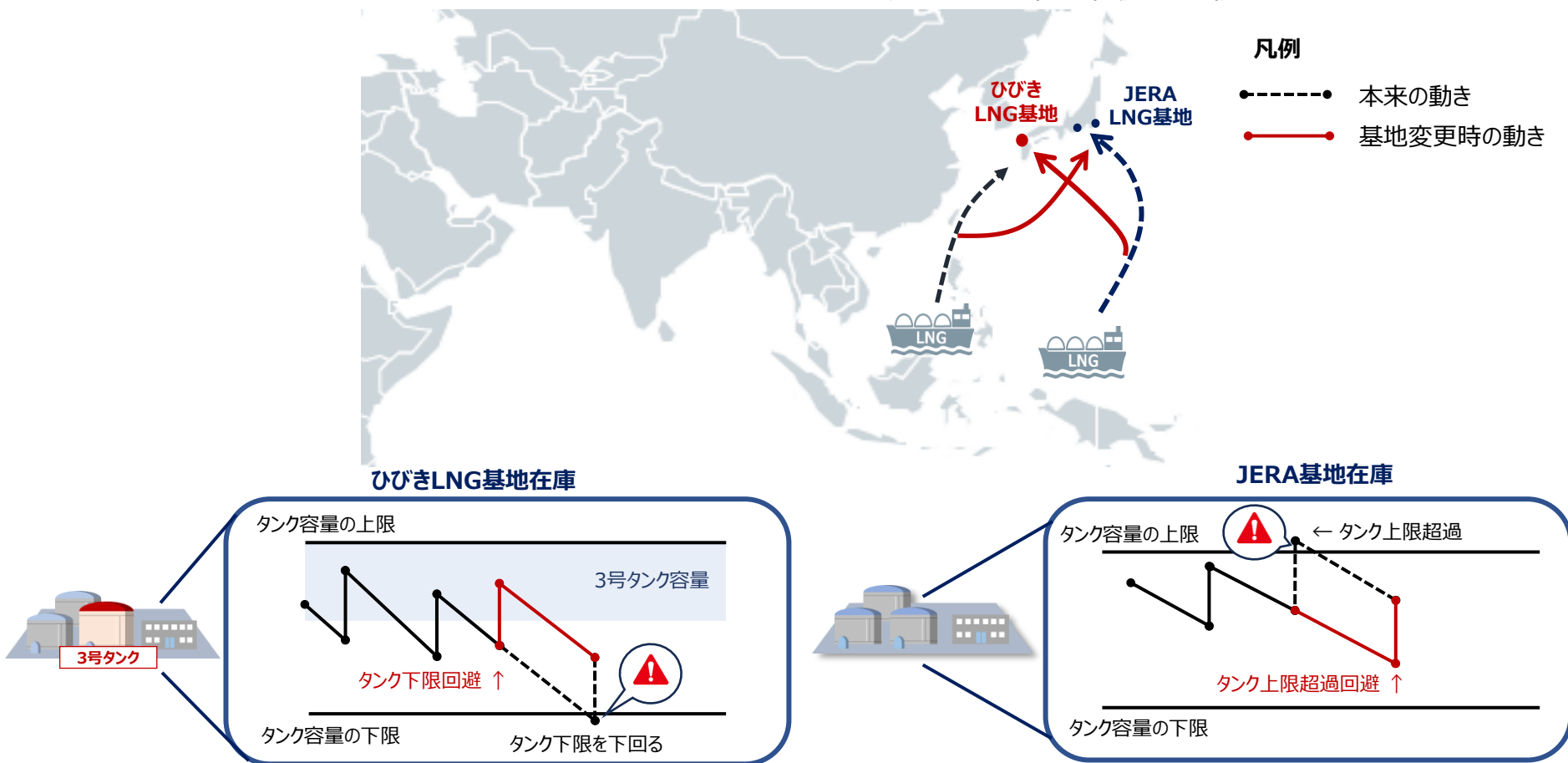
次世代燃料を含むエネルギービジネスの推進

- 水素系燃料

4. LNG安定供給への対応 ～ひびきLNG基地の3号タンクを活用したLNG相互融通～

- 両社は、ひびきLNG基地の3号タンク増設により生まれる受入余力を活用することで、お互いの基地の需給調整を目的としたLNG相互融通が可能となり、ひびきLNG基地の安定的な運営と両社の基地の更なる安定供給の向上が可能

＜ひびきLNG基地の3号タンクを活用したLNG相互融通の一例＞



5. グローバルビジネスの推進 ～アジアなどに向けたLNG供給～

- ひびきLNG基地の立地的優位性を活用し、アジアをはじめとしたグローバルな新たな市場開拓なども視野

